

raffia + recycle leather bucket bag kit

RAFFIA ?

ラフィアはラフィア椰子の葉から採れる天然繊維、軽く丈夫です。

その柔らかな繊維をかぎ針で編んだり、コイリングしたりと様々な技法でバッグや帽子が作られています、繊維1本1本をブレード状に編んだバッグや帽子はとても丈夫、未永く使えるものになります。

使うほどに樹脂によって艶と柔らかさが増す魅力的な素材『ラフィア』でバケツバスケットを作りましょう。

KIT



ラフィアブレード



ボディ&ハンドル



とじ用ラフィア/ラフィアロープ
レザーワッシャー/とじ針



割ピン

はじめに



表面

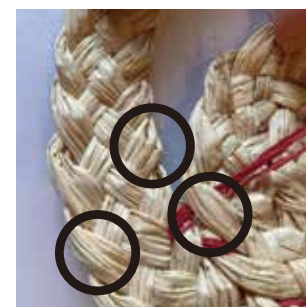


裏面



とじ用
ラフィア

短くなったら



こちら側を見ながら時計回りにとじていくイメージです

バッグの内側になる面です

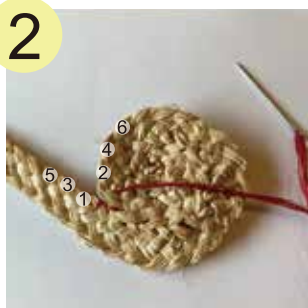
ひとつ結びで繋ぐ
(ご存知の方はハタ結び)
わかりやすくする為、
赤色のラフィアを使用します

○印の部分を「目」と読んで説明していきます

START



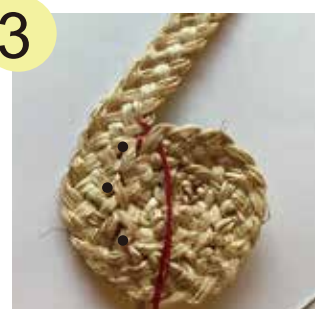
1



2

とじ針でとじていきます。1のように目は必ず下からすくいます。すでにとじられている方を下の段、これからとじる方を上の段と呼び説明します。基本的には2のように上の段、下の段の向かい合う目を交互に拾いとじていきます。ただ、底部は平らにする必要がある為、上の段を適宜拾わずに飛ばす必要があります。

平らなところに底部を置いてどの目とどの目をとじると平らになるか確かめるようにするとわかりやすいです。



3



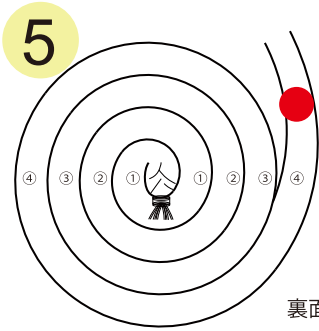
4

3は●の目を飛ばしている。

上の段の目を飛ばさずにとじていくと、4のように平らではなく、立ち上がってきてしまいます。

円周が大きくなるにつれ、上の段の目を飛ばさなくても平らにとじれるようになってきます(円のカーブがゆるやかになるため)。飛ばす必要がないのに飛ばしていると外側が波をうったようになってしまいます。

※平らにするために飛ばすのは上の段です。



裏面 (バッグ内側)

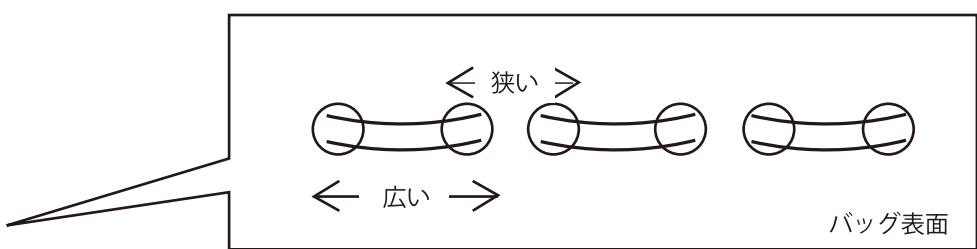
裏面を見て、ブレードの編み始めを中心に4周とじたところで立ち上げます。
●印が4周(ブレードの編み始めを時計の6時の方向にしたときに2時のあたりです)。
立ち上げる前に濡れタオルをあててアイロンを軽くかけると綺麗に立ち上げることができます。



表面を見ながら直角に立ち上げるようにして、上の段、下の段と交互に目を飛ばさずにとじ進みます。ある程度の力でしっかりととじることにより、とじ用のラフィアは見えなくなります(力加減の目安)。1周立ち上げて、さらにもう2周とじたところ(写真8)



とじ針にラフィアロープを通し、底とボディのレザーを縫い合わせていきます。付属の割ピンで数か所仮止めすると縫いとめやすいです。まずレザーワッシャーにラフィアロープを通し(9)、底の裏側から針を入れていきます。



穴と穴の間隔が広い方を外側でロープが出るようにを通してください。最後まで縫ったらレザーワッシャーに通してひとつ結びをします。



ひとつ穴からハンドルを通します。お好みの長さを決めたらぐるりとひとつ結びにし、最後にラフィアロープで留めれば完成です